

生物多様性研究セミナー

～ネイチャー・ポジティブを推進する～

1. 研究セミナー開催の趣旨

現在、地球上には既知の生物が約 175 万種、未知のものも含めると、実際には 300 万種～1 億種が生存しているとの推計もされています。この多様な生物の存在は人類の生存基盤としても極めて重要ですが、人間活動の拡大とともに、生物多様性が低下してきていることが、今日の大きな課題となっています。2022年は、生物多様性条約締約国会議で新たな世界目標となる「ポスト2020生物多様性枠組」の採択が予定されており、気候変動問題に対応したパリ協定と同様、企業にも定量的で実効性のある目標や活動の加速、情報開示が要請される事は想像に難しくありません。

当法人は、このような認識の下、あらためて事業者の皆様の生物多様性の保全に資する活動の一助として一連の研究セミナーを開催し、ネイチャー・ポジティブ推進に貢献してまいります。

2. 研究セミナー概要

オープン型セミナーとして、会員企業様以外にも参加機会をご提供いたします。また多層のご参加を可能とするため、1回の開催はテーマを絞り、シリーズとして開催いたします。各回とも都度ご案内いたしますので、個別でのご参加が可能です。日程やテーマ及び講師は変更になる場合があります。

摘要	開催日時	テーマ及び狙い	講師
第1回	2022年 7月1日	生物多様性に関わる国際動向について 自然資本としての生物多様性が生み出す生態系サービスの重要性と価値を再確認し、昨今、国際的に議論が進んでいる生物多様性に関わる、情報開示の枠組みや科学に基づく目標設定のイニシアティブ或いは国際標準規格の動向を探ります。	環境省 自然環境局 生物多様性主流化室 室長 谷貝雄三様
第2回	2022年 8月18日	TNFDとSBTs for Nature について 金融機関は、気候変動と同様、企業の自然への依存度と影響の開示を求めようとするタスクフォース (TNFD) を立ち上げその枠組み検討を始めています。またこれには科学に基づく目標の設定 (SBTs for Nature) が必要となります。これら開示枠組みを理解し要請への準備に資するものとします。	MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 総合企画部サステナビリティ推進室 TNFD専任SVP 原口 真様 八千代エンジニアリング株式会社様事業開発本部 第一開発室 シニアアソシエイト 佐藤 怜様
第3回	2022年 検討中	生物多様性条約第15回締約国会議の成果について 12月にモントリオールで開催されるCOP15第2部では「ポスト2020生物多様性枠組み」が採択予定です。新たな国際的な目標を確認し、気候変動と同様、企業の備えについて確認する機会を提供します。	環境省 自然環境局 生物多様性戦略推進室
第4回	2023年 検討中	次期生物多様性国家戦略について 国が予定している、社会課題に対する自然との関わり方や、企業活動や個人のライフスタイルに対する生物多様性の配慮などの国家戦略について確認してまいります。	別途
第5回	2022年 年度内	生物多様性への取組先進企業に学ぶ 自然資本プロトコル等を活用し、生物多様性に対する取り組みを積極的に進めている企業様のお話を伺い、自社の取組の参考として頂きます。	別途

【開催形式】 ; WEB開催 (ZOOM Meeting 使用予定)

【定員】 ; 先着順80名程度

【参加費用】 ; 無料 (どなたでもご参加が可能です)

3. お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本環境倶楽部 事務局長 蜂屋利巳

住所：東京都豊島区東池袋 2-60-2 池袋パークハイツ2F、電話：03-6869-9886

メールアドレス：kankyouto@kankyoclub.or.jp